

1mWワイヤレス呼出装置

【RC426T+BN426R II】

取扱説明書

V1.30

目次

第1章. お使いになる前に.....	1
1-1. はじめに.....	1
1-2. 付属品	1
1-3. 安全上のご注意(必ずお読み下さい)	2
1-4. 概要.....	6
1-5. 特徴.....	6
1-6. 仕様.....	7
1-6-1. 送信機「RC426T」.....	7
1-6-2. 表示機 片面表示「BN426RⅡ」.....	7
1-6-3. 表示機 両面表示「BNW426RⅡ」.....	8
1-7. 各部の名称と説明.....	9
1-7-1. 送信機「RC426T」.....	9
1-7-2. 受信機「BN426RⅡ」.....	9
1-8. 寸法図	10
1-8-1. 送信機「RC426T」.....	10
1-8-2. 受信機「BN426RⅡ」「BNW426RⅡ」共通.....	10
1-9. 設置方法.....	11
1-9-1. 設置時の注意事項	11
1-9-2. 送信機の設置	11
1-9-3. 表示機の設置	11
1-9-4. 表示機出力端子への接続.....	12
1-9-5. 出力回路構成	13
第2章. 使い方.....	14
2-1. 表示機の設定.....	14
2-1-1. 通信チャネルの設定	14
2-1-2. 表示モードの設定	15
2-1-3. ユニット番号の設定	16
2-2. 動作説明.....	17
2-2-1. 送信機の動作	17
2-2-2. 表示機の動作	17
第3章. 取扱上の注意	19
3-1. 故障と思う前に	19
3-2. おかしいな?と思ったら	20
3-3. 保証.....	21
第4章. オプション	23

4-1. キーボードユニット	23
4-1-1. キーボードユニットの取付	23
4-1-2. キーボードユニットの名称と働き	24
4-1-3. キーボードユニットの操作	25
4-2. メロディホン	26
4-2-1. メロディホンの動作	26
4-2-2. メロディホン付き表示機寸法図	27
4-2-3. メロディの選択	27

第1章. お使いになる前に

1-1. はじめに

この取扱説明書には、本製品の概要、設置及び操作など、本製品をお使いいただく上で必要な情報が記載されています。

本製品をお使いになる前によくお読み下さい。また、いつでもご利用頂けますよう大切に保管して下さい。

1-2. 付属品

送信機<RC426T>

①単四乾電池 2本

受信機<BN426RⅡ>

付属品 なし

1-3. 安全上のご注意(必ずお読み下さい)

お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区別し、説明しています。

 警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



- 全てに共通の取り扱いについて

● 湿気・ほこりの多い場所での使用は避けて下さい。ほこりや水分が入り、故障・火災・感電の原因となることがあります。	 禁止
---	---

- 本機の取り扱いについて

● 本機は、精密部品で作られた無線通信機器です。分解・改造はしないで下さい。事故や故障の原因となります。	 禁止
--	---

警告

■ 本機の取り扱いについて

● 人命にかかわるような極めて高い信頼性を要求される用途には、ご使用にならないで下さい。	 禁止
● 電波が届くか届かない曖昧な範囲ではご使用にならないで下さい。	 禁止

■ 電源の取り扱いについて

ACアダプタ・電源コードの発熱、破損、発火などの事故防止のため、次のことは必ずお守り下さい。

● ACアダプタ・電源コードを火に近づけたり、火の中に入れて下さい。ACアダプタ・電源コードが破裂・発火して事故の原因になります。	 禁止
● ACアダプタ・本体は、破損・発火事故防止のため、指定された電源電圧以外では使用しないで下さい。	 禁止
● 濡れやすい場所で、ACアダプタ・本体を使用しないで下さい。発熱・発火・感電などの事故や故障の原因となります。	 禁止
● 濡れた手でACアダプタ・本体・電源コード・コンセントに触れないで下さい。感電などの事故の原因となります。	 禁止
● 電源コードを破損させないで下さい。ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。	 禁止
● 電源プラグにほこりが付着したままで使用しないで下さい。ショートや発熱により火災や感電の原因になります。	 禁止
● ACアダプタに強い衝撃を与えないで下さい。事故や故障の原因になることがあります。	 禁止
● ACアダプタの変形などに気づいたら、使用しないで下さい。事故や故障の原因になることがあります。	 禁止
● 引火性ガスが発生する場所では、本体を充電しないで下さい。発火事故などの原因になります。	 禁止
● 絶対にACアダプタを分解しないで下さい。事故や故障の原因になることがあります。	 禁止

■使用中に異常が発生したときは

火災・感電等の原因となりますので、電源プラグをコンセントから抜いて販売店 又は弊社に修理を依頼して下さい。

●煙が出たり、変なおいが出るときは使用を中止し、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて販売店又は弊社に修理を依頼して下さい。



●電源コードが傷んだら使用しないで下さい。
そのまま使用すると火災や感電の原因になります。



■無線通信の信頼性について

無線通信は有線通信と異なる性質があり、下記要因により通信エラーが発生することがあります。

- ・通信距離を越えてしまっている。
- ・デッドポイントに入ってしまった。
- ・強い妨害電波がある。

頻繁に妨害される場合、また、妨害されることが運用上問題である場合は、使用を中止し妨害の原因を排除してからご使用下さい。

また、上記要因以外にも電波を受信できない状況が発生することがありますので、予めご理解の上、御使用下さい。

※デッドポイントとは、送信機から発信された電波が壁などで反射された電波に影響され電波が極端に弱くなる範囲のことです。

本装置の送信機は、「特定小電力無線局テレメータ用及びテレコントロール用無線設備」として技術基準適合証明を受けております。

テレメータ用及びテレコントロール用無線設備について

<テレメータ用無線設備>

電波を利用して遠隔地点における測定器の測定結果を自動的に表示し、又は記録することを目的とする信号の伝送を行う無線設備。

<テレコントロール用無線設備>

電波を利用して遠隔地点における装置の機能を始動、変更又は終止させることを目的とする信号の伝送を行う無線設備。

1. 人命や他の機器・装置に被害及び損傷を与える恐れのある用途では使用しないで下さい。
また、送信機からの電波により、誤動作する可能性のある装置の近くでは使用しないで下さい。
2. 技術基準適合証明を受けている装置を分解したり、改造することは法律で禁止されています。
3. 送信機のケースに貼ってある技術基準適合証明番号の記載されているラベルをはがさないで下さい。はがした状態で使用することは、法律で禁止されています。
4. 本装置は、日本国内専用です。
電波法は日本国内においてのみ有効です。国外で使用する場合は、使用国の法律に違反していないかご確認の上、ご利用下さい。また、本装置を電気通信回線に接続して使用することはできません。
5. 通信性能は周囲の環境によって変化しますので、設置前に通信が可能であることを確認のうえ、ご利用下さい。

1-4. 概要

本装置は、以下の機器で構成されております。

- ① 1mW送信機 RC426T(以下、送信機)
 - ・「特定小電力無線局テレメータ用及びテレコントロール用無線設備」として技術基準適合証明を受けているため、免許不要です。
 - ・スイッチ入力に応じたコード(①スイッチ、②スイッチ)を表示機へ送信します。
- ② 表示機 BN426R II (以下、表示機)
 - ・受信したコードに応じて、番号を表示(番号は送信機の機器番号に対応)し、外部出力(STOP、CALL)をします。

上記構成からなる本装置を使用して、生産の流れにおける異常を知らせることができます。

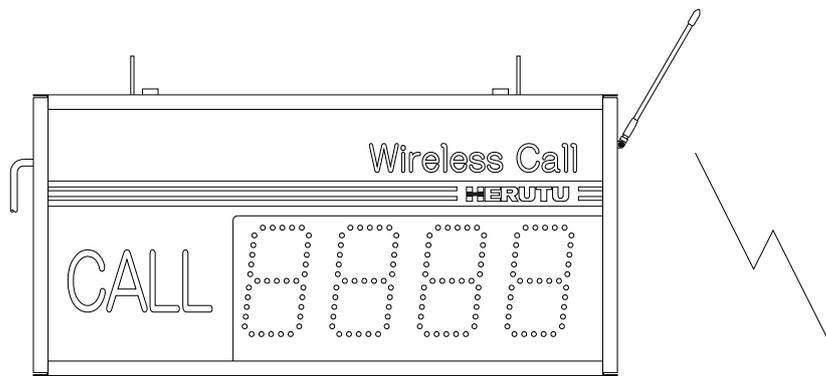
*この説明書は、主に表示機の取扱方法が記載してあります。送信機については「特定小電力タイプ 1mW送信機 RC426T」の取扱説明書をお読み下さい。

1-5. 特徴

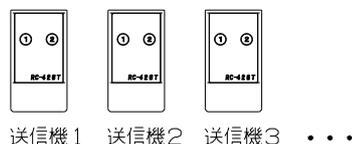
- ① 通信チャンネルを1～10chまで設定できます。(注1)
- ② 呼び出し番号表示は、モードの設定により1桁モードと2桁モードの切り替えができます。
- ③ 1桁モードは最大8ヶ所の異常状況を表示機1台で監視できます。(注2)
2桁モードは最大64ヶ所の異常状況を表示機1台で監視できます。
- ④ 異常発生時には、LED表示と共に外部出力をするため、メロディホンや回転灯を接続することができます。
- ⑤ 異常を伝達する送信機は、乾電池で使用できます。
- ⑥ 表示機のLED表示は文字高110mmの高輝度赤色LED表示のため、確認できるエリアが広がります。

(注1)送信機と表示機の通信チャンネルは、同一に設定して出荷されます。

(注2)送信機には表示機の呼び出し番号に対応した機器番号が設定されています。



表示機



1-6. 仕様

1-6-1. 送信機「RC426T」

送信機については「特定小電力タイプ 1mW送信機 RC426T」の取扱説明書をお読み下さい。

1-6-2. 表示機 片面表示「BN426R II」

項目	仕様
通信周波数	426.0250MHz～426.1375MHz (12.5kHzステップ 10波)
電波形式	F1D
アンテナ	$\lambda/4$ ホイップアンテナ
変調方式	直接2値FSK
変調速度	977bps
通信	受信専用
出力	オープンコレクタ出力×1(Y2) リレー出力×1(E0) 最大定格負荷 DC35V 50mA 最大定格負荷 AC125V 0.5A DC 24V 1A
入力	キーボードユニット(KE-2)接続用×1
表示素子	4桁表示 高輝度赤色7セグメントLED 表示文字寸法: 110H×60W(mm)
電源	AC100V(AC90～120V)
消費電力	MAX25W
寸法	600W×290H×80D(mm) (但し、突起物は含まず)
重量	約5.5kg
使用環境	温度: 0～50℃ 湿度: 85%以下(結露無きこと)

1-6-3. 表示機 両面表示「BNW426R II」

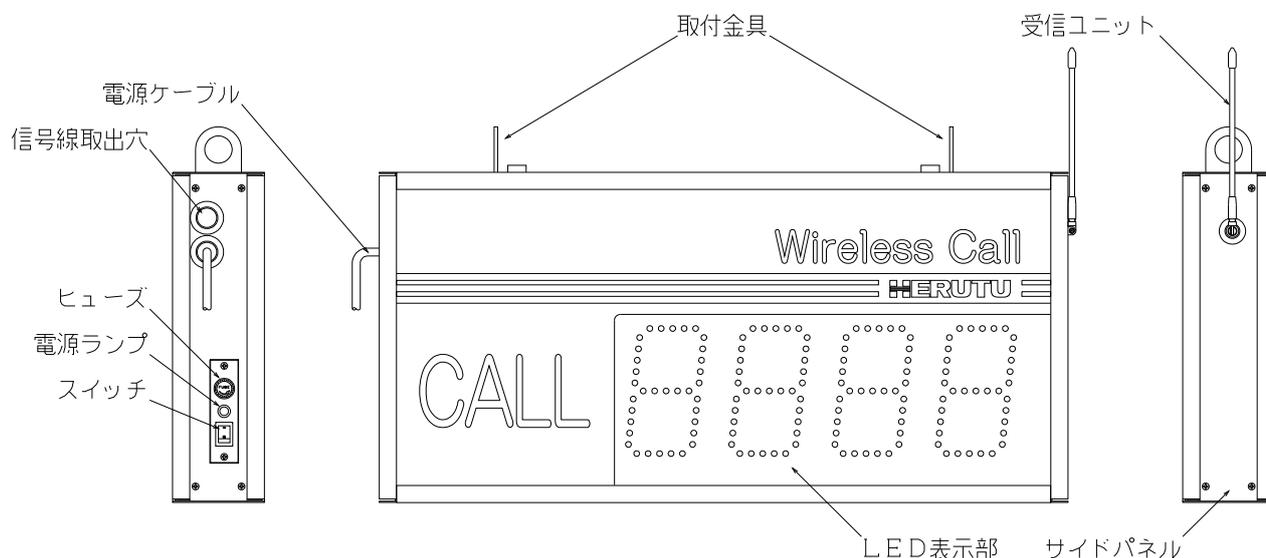
項 目	仕 様
通信周波数	426. 0250MHz～426. 1375MHz (12. 5kHzステップ 10波)
電波形式	F1D
アンテナ	λ/4 ホイップアンテナ
変調方式	直接2値FSK
変調速度	977bps
通信	受信専用
出力	オープンコレクタ出力×1(Y2) リレー出力×1(E0) 最大定格負荷 DC35V 50mA 最大定格負荷 AC125V 0.5A DC 24V 1A
入力	キーボードユニット(KE-2)接続用×1
表示素子	4桁表示 高輝度赤色7セグメントLED 表示文字寸法: 110H×60W(mm)
電源	AC100V(AC90～120V)
消費電力	MAX35W
寸法	600W×290H×80D(mm) (但し、突起物は含まず)
重量	約5. 8kg
使用環境	温度: 0～50℃ 湿度: 85%以下(結露無きこと)

1-7. 各部の名称と説明

1-7-1. 送信機「RC426T」

送信機については「特定小電力タイプ 1mW送信機 RC426T」の取扱説明書をお読み下さい。

1-7-2. 受信機「BN426R II」



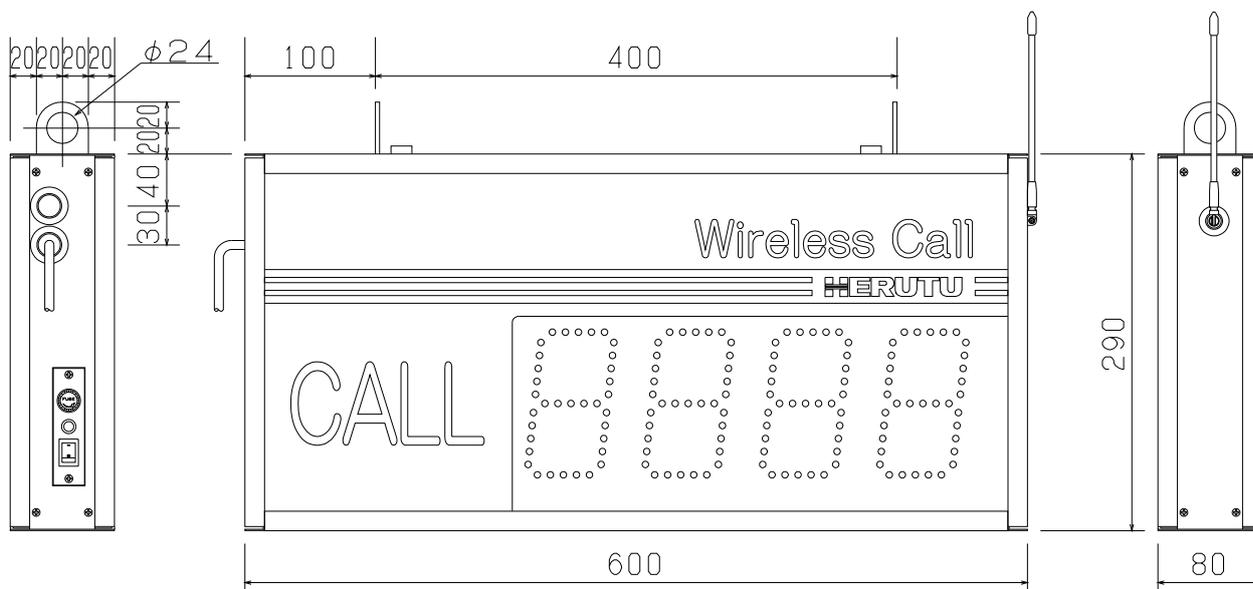
項目	内容
取付金具	表示機の固定に使用してください。
電源ケーブル	AC100V入力です。(ケーブル長 約1.5m)
受信ユニット	送信機からの電波を受信します。
信号線取出穴	内部に入出力端子台がありますので、信号線はこの穴を通して接続して下さい。
ヒューズ	AC125Vヒューズです。(容量は貼り付けシール参照)
電源ランプ	電源用のランプです。ランプは電源ONで点灯します。
スイッチ	本体の電源スイッチです。
LED表示部	高輝度赤色LED表示です。受信した送信機の機器番号を表示します。 ※BN426R II : 4桁片面表示 BNW426R : 4桁両面表示
サイドパネル	内部出力用端子台への信号線の接続や、通信チャンネル／表示モードの設定／ユニット番号の設定の設定は、サイドパネルを外して行います。

1-8. 寸法図

1-8-1. 送信機「RC426T」

送信機については「特定小電力タイプ 1mW送信機 RC426T」の取扱説明書をお読み下さい。

1-8-2. 受信機「BN426R II」「BNW426R II」共通



1-9. 設置方法

1-9-1. 設置時の注意事項

次のことに注意して設置して下さい。

- ① アンテナは金属板や電線から遠ざけ、また平行にならないようにして下さい。
- ② ノイズ発生源から離して下さい。
- ③ 送信機と表示機のアンテナ間に、遮蔽物がない場所を選んで下さい。
- ④ 通信性能は、設置環境に大きく依存します。通信が可能であるか確認の上、設置して下さい。
- ⑤ 本装置(送信機・表示機)は、防塵・防滴構造ではありません。

* 以下のような場所には設置しないで下さい。

- ・ 直射日光があたる場所
- ・ 湿度が非常に高い場所
- ・ テレビやラジオの近く
- ・ モーターなど火花を飛ばすものの近く
- ・ 強い磁界を発生している場所
- ・ 鉄骨や金属壁で囲まれた場所
- ・ 本装置からの電波により、誤動作をする可能性のある装置の近く

1-9-2. 送信機の設置

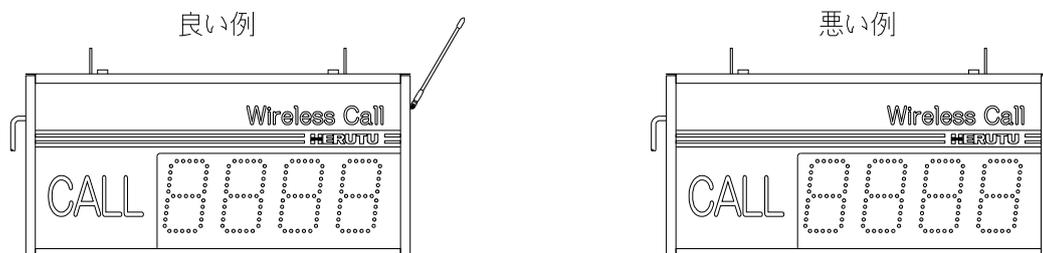
送信機については「特定小電力タイプ 1mW送信機 RC426T」の取扱説明書をお読み下さい。

1-9-3. 表示機の設置

表示機は、送信機から見通しが良い位置に設置して下さい。取付金具を利用される場合は、重量に耐えられる安定した場所に固定して下さい。

アンテナは斜め上方向に向けて下さい。表示機側面に平行して下に向けて設置しないようにして下さい。

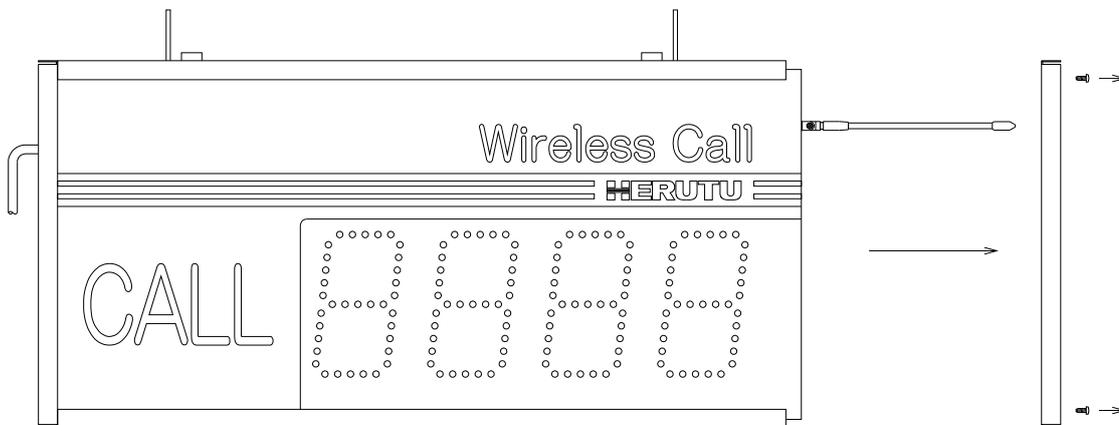
表示はLEDの特性上正面がもっとも明るく見えますので、なるべく見る位置から正面となる角度に設置して下さい。



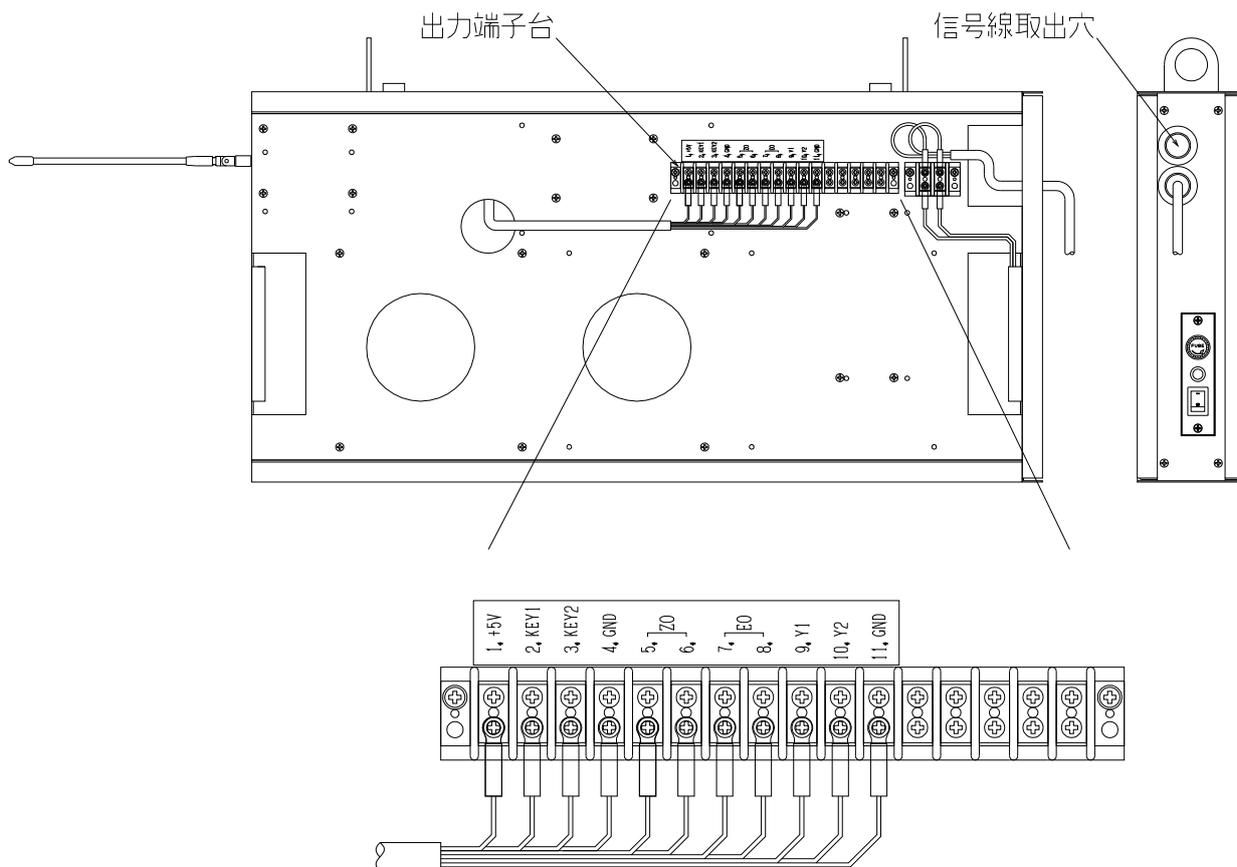
1-9-4. 表示機出力端子への接続

LED表示と連動している外部出力は、内部の出力端子台より出力しています。

アンテナをサイドパネルと垂直にし、サイドパネルを固定しているネジ(4本)を外します。サイドパネルをアンテナに引っかからないように移動させ取り外します。



出力端子台は裏面にありますので、裏面ABS板をスライドし取り外します。



信号線は端子台に接続する前に、信号線取出穴に通して下さい。

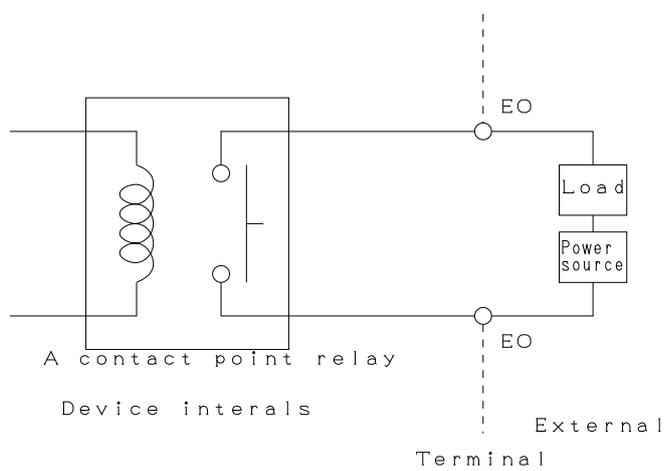
* 出力端子台:M3ネジ

1-9-5. 出力回路構成

リレー出力

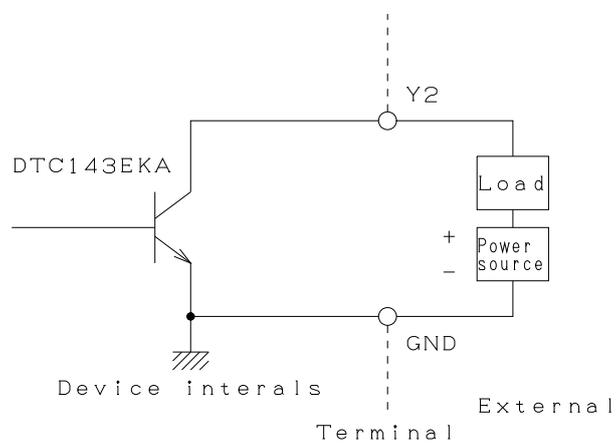
最大定格負荷 AC125V 0.5A

DC 24V 1A



オープンコレクタ出力

最大定格負荷 DC35V 50mA



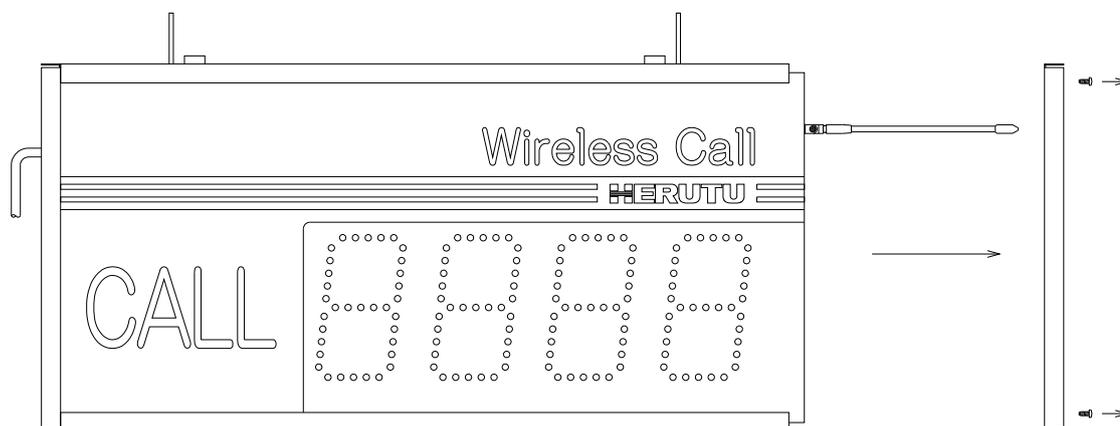
第2章. 使い方

2-1. 表示機の設定

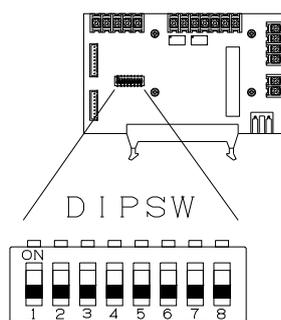
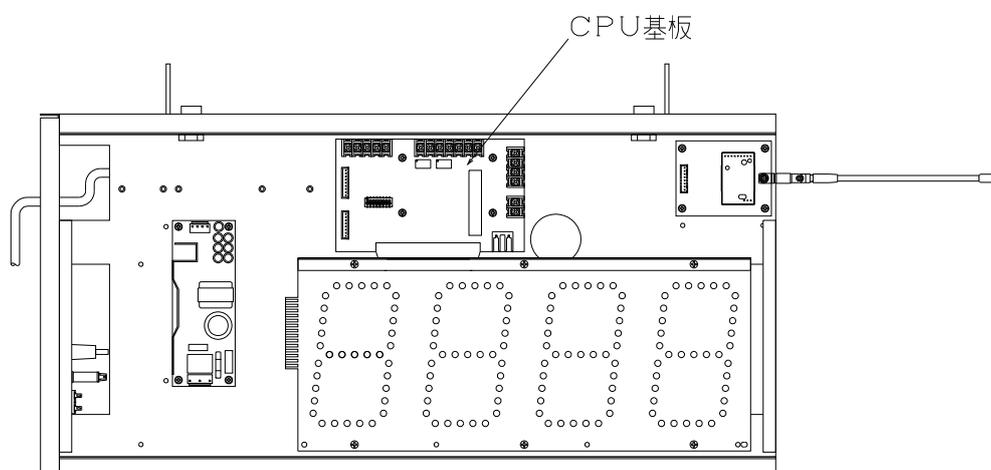
2-1-1. 通信チャンネルの設定

設定は内部のCPU基板上にあるDIPSWで行います。

アンテナをサイドパネルと垂直にし、サイドパネルを固定しているネジ(4本)を外します。サイドパネルをアンテナに引っかからないように移動させ取り外します。



CPU基板は表面にありますので、表面アクリル板をスライドし取り外します。



DIPSW1～4で通信チャンネルを設定します。通信チャンネルは送信機と同一に設定します。

チャンネル番号	周波数	DIPSW設定 ○:OFF ●:ON			
		1	2	3	4
1ch	426.0250MHz	○	○	○	○
2ch	426.0375MHz	●	○	○	○
3ch	426.0500MHz	○	●	○	○
4ch	426.0625MHz	●	●	○	○
5ch	426.0750MHz	○	○	●	○
6ch	426.0875MHz	●	○	●	○
7ch	426.1000MHz	○	●	●	○
8ch	426.1125MHz	●	●	●	○
9ch	426.1250MHz	○	○	○	●
10ch	426.1375MHz	●	○	○	●

* 上記以外のDIPSW1～4の設定は1chとなります。

2-1-2. 表示モードの設定

DIPSW5で表示モードの設定をします。

- ① 1桁モード・・・1桁の呼び出し番号を最大4台表示できます。
- ② 2桁モード・・・2桁の呼び出し番号を最大2台表示できます。

DIPSW5の状態	OFF	ON
表示モード	1桁モード	2桁モード

2-1-3. ユニット番号の設定

DIPSW6~8でユニット番号を設定します。ユニット番号は送信機と同一に設定します。

ユニット番号	DIPSW設定 ○:OFF ●:ON		
	6	7	8
1	○	○	○
2	●	○	○
3	○	●	○
4	●	●	○
5	○	○	●
6	●	○	●
7	○	●	●
8	●	●	●

* 2桁モードではユニット番号の設定は無効で、動作には関係ありません。

2-2. 動作説明

2-2-1. 送信機の動作

送信機については「特定小電力タイプ 1mW送信機 RC426T」の取扱説明書をお読み下さい。

2-2-2. 表示機の動作

表示機は、1から8番までの1桁の呼び出し番号を最大で4台分表示する「1桁モード」と、1から64番までの2桁の呼び出し番号を最大で2台分表示する「2桁モード」があります。

表示の順序は最初に受け付けたものが最上位桁(左側)に表示され、次に受け付けたものから順に右側へ表示されます。

この呼び出し番号は、呼び出しを送信した送信機の②スイッチによりクリアされます。

この時、クリアした呼び出し番号以外に表示していた場合は、その番号が左側に繰り上がり、また、内部にメモリされた呼び出し番号があれば右側に表示されます。表示されていない場合(メモリに保持されている場合)でも②スイッチは有効となります。

【1桁モード】

4台までの呼び出し番号を表示する他に、表示機内部に4台分のデータを保持するため、最大8ヶ所からの呼び出しを受け付けることができます。

【2桁モード】

2台までの呼び出し番号を表示する他に、表示機内部に62台分のデータを保持するため、最大6ヶ所からの呼び出しを受け付けることができます。

表示機は、送信機からの①スイッチ、②スイッチを受信すると次の動作を行います。

①スイッチコード受信時の動作

LED表示……送信機の機器番号(呼び出し番号)を点灯表示
EO端子……リレー出力
Y2端子……オープンコレクタ出力

(注1)他の送信機によって動作中の場合は、送信機の機器番号(呼び出し番号)を点灯表示し、他の出力は現状を維持します。

②スイッチコード受信時の動作

LED表示……送信機の機器番号(呼び出し番号)表示をクリア
EO端子……リレー出力停止
Y2端子……オープンコレクタ出力停止

(注1)他の送信機による動作がある場合は、送信機の機器番号(呼び出し番号)に対応する表示をクリアし、他の出力は現状を維持します。

第3章. 取扱上の注意

3-1. 故障と思う前に

送信機については「特定小電力タイプ 1mW送信機 RC426T」の取扱説明書をお読み下さい。
ここでは表示機について説明します。

・表示されない時

原因と対策:

① 正しく設置されていますか？

「1-9. 設置方法」を参照の上、注意事項を守って正しく設置して下さい。

② ヒューズが切れていませんか？

ヒューズホルダーからヒューズを外して確認して下さい。

切れている場合は、電源等の他の異常が無いことを確認してからヒューズを交換して下さい。

③ 通信チャンネルが送信機と表示機で違っていませんか？

何らかの理由で、ご購入時にセットされていた送信機の通信チャンネルが変わった可能性があります。表示機と正常な通信をしている他の送信機のチャンネルに合わせて下さい。

・正しく表示されない時

原因と対策:

① 他の送信機から電波が出ていませんか？

混信の可能性があります。数秒待ってからもう一度スイッチを押してみてください。

② 電波の到達範囲外で使用していませんか？

電波の到達範囲内でご使用下さい。

(到達範囲の確認は、本装置設置時に実施して下さい。)

3-2. おかしいな?と思ったら

正常な状態でご使用中に、万一機器の異常が確認されたときには、「3-1. 故障と思う前に」をご覧ください。

対策を行っても現象が改善されない場合や、対策方法が不明の場合は

製品名・製造番号・使用環境
接続している外部機器
異常発生までの処理手順
具体的な発生内容など

を、お買い上げの販売代理店、または弊社営業部までお問い合わせ下さい。

ご使用になられる方がユニットを分解・改造して使用することは、法律で禁止されており、罰せられることがあります。

3-3. 保証

保証規定(日本国内においてのみ有効)

本規定はお買い上げになられた製品を安心してご利用いただけるよう出荷後の保証について弊社が定めたものです。弊社製品が故障した場合は、この規定に基づき修理・交換いたします。

■保証範囲

お客様の正常なご使用状態のもとで万一故障した場合、規定に従い故障箇所の無償修理をさせていただきますので、お買い上げの販売店、または弊社営業部にお申し出下さい。ただし、本製品のハードウェアに限らせていただきます。

なお保証期間内においても次の場合には有償修理となります。

1. お客様による輸送・移動時の落下、衝撃等、お客様のお取扱いが適正でないために生じた故障・損傷の場合。
2. お客様による本体の分解や改造による故障の場合。
3. 火災・地震・水害等の天災地変および異常電圧による故障・損傷の場合。
4. 本製品に接続している当社指定機器以外の機器の故障に起因する故障の場合。
5. 本体以外の付属品(ACアダプター、アンテナ、接続ケーブル等)は含みません。
6. 弊社以外で修理・調整・改良した場合。
7. 消耗品や寿命品(バッテリー含む)の交換の場合。消耗品・寿命品には下記のものが含まれません。
 - ①各種スイッチ類(リミットスイッチ、押しボタンスイッチ等)
 - ②電池・バッテリー(乾電池、ボタン電池等)
 - ③その他使用により消耗・寿命があるもの
8. 本取扱説明書に記載された使用方法及び注意事項に反するお取扱いによって生じた故障の場合。

■保証期間

保証期間は原則としてお買い上げいただいてから1年間となります。

保証期間内は、保証規定の定めにより弊社にて無償修理致します。

保証期間中の修理やアフターサービスについてご不明な場合は、お買い上げの販売店、または弊社営業部までご相談下さい。

■初期不良について

製品お買い上げ日より起算し2週間以内を製品初期不良期間とします。期間内にお買い上げの販売店、または弊社営業部にご送付いただき、製品確認後、初期不良とみなされた場合は新品交換または修理対応を無償にて行います。

初期不良の場合、送料は弊社にて負担させていただきます。但し、日本国内の送料に限らせていただきます。

■免責事項

本製品の故障や障害、その使用によって生じた直接的・間接的な損害、金銭的損失については一切の責任を負いかねます。

■修理対応期間

本製品の修理はお買い上げいただいた日より8年間とします。

但し、使用部品の廃止等やむを得ない理由により代替部品の使用又は代替機により対応させていただくことがあります。

■その他

- 保証期間に関係なく、修理は調整等測定機器類の必要上、弊社への持ち込み修理を原則とし、持ち込み時に発生する送料等はおお客様の負担とさせていただきます。

なお、出張修理を行う場合、または保証期間中に代替機が必要な場合等はお買い上げの販売店または弊社営業部までご相談下さい。

修理受付後、弊社技術部門において障害の再現できない場合は、交換・修理を致しかねる場合があります。また、障害の再現をするための技術調査費用を別途請求する場合があります。

- 保証期間後の修理につきましてはお買い上げの販売店、または弊社営業部までご相談下さい。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理させていただきます。

本書の内容については予告なく変更することがあります。
本書の記載内容につきましては万全を期しておりますが、万一ご不審な点がありましたら、お買い上げの販売店、または弊社営業部までご連絡下さい。
製品の仕様及び外観は機器改良その他により予告なく変更する場合があります。

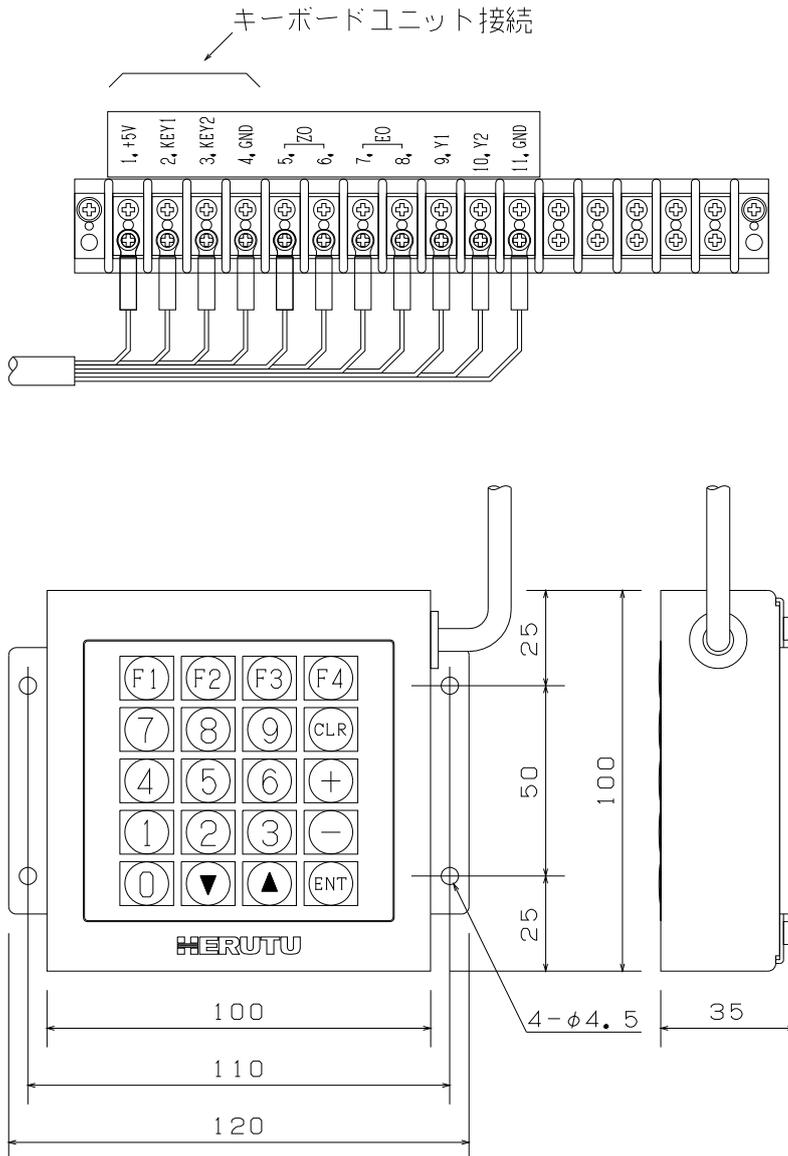
第4章. オプション

4-1. キーボードユニット

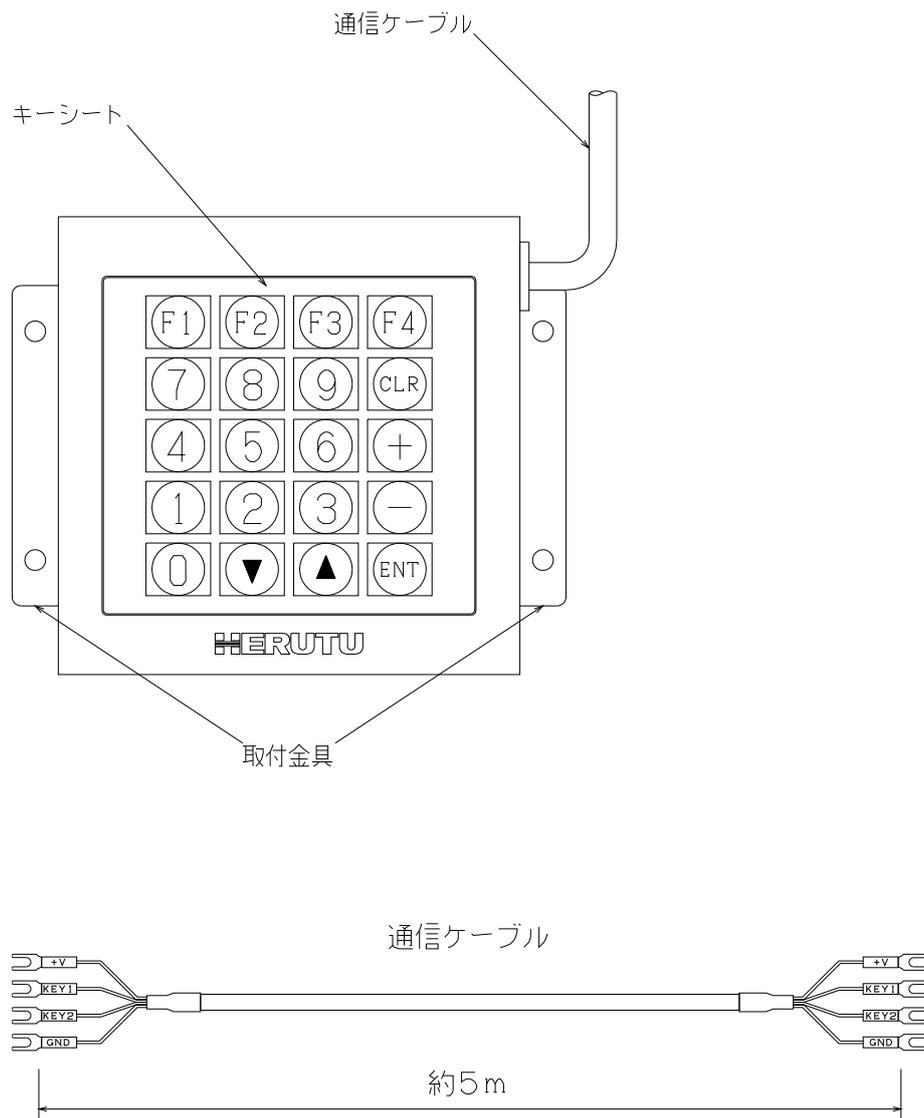
4-1-1. キーボードユニットの取付

出力端子台にキーボードユニットを取り付けます。

キーボードユニットには約5mのケーブルが取り付けられていますので、「1-9-4. 表示機出力端子への接続」と同様にサイドパネルと裏面ABS板を取り外し、信号線取付穴を通してから接続して下さい。



4-1-2. キーボードユニットの名称と働き



取付金具……………キーボードユニットの固定に使用してください。

通信ケーブル……………表示機との通信ケーブルです。(ケーブル長 約5m)

キーシート……………20キーメンブレンスイッチです。

4-1-3. キーボードユニットの操作

キーボードユニットにより表示機の呼び出し番号をクリアすることができます。

以下にクリア手順を説明します。

- ①キーボードからクリアコマンド[1]を入力すると「呼び出し番号クリアモード」に移行します。(表示はすべてブランクになります。)
- ②クリアしたい呼び出し番号を入力します。入力した呼び出し番号は表示機の右側へ表示されます。このとき入力した呼び出し番号を訂正するには[CLR]キーを押し、再度呼び出し番号を入力します。
- ③入力を確定するには[ENT]キーを押します。表示機は通常画面に戻ります。入力した呼び出し番号が呼び出されていない場合と、使用していない機器番号の場合は数値の[00]を3秒間フラッシュ表示した後、通常画面に戻ります。また、何も入力しないで[ENT]キーを押した場合も、通常画面に戻ります。

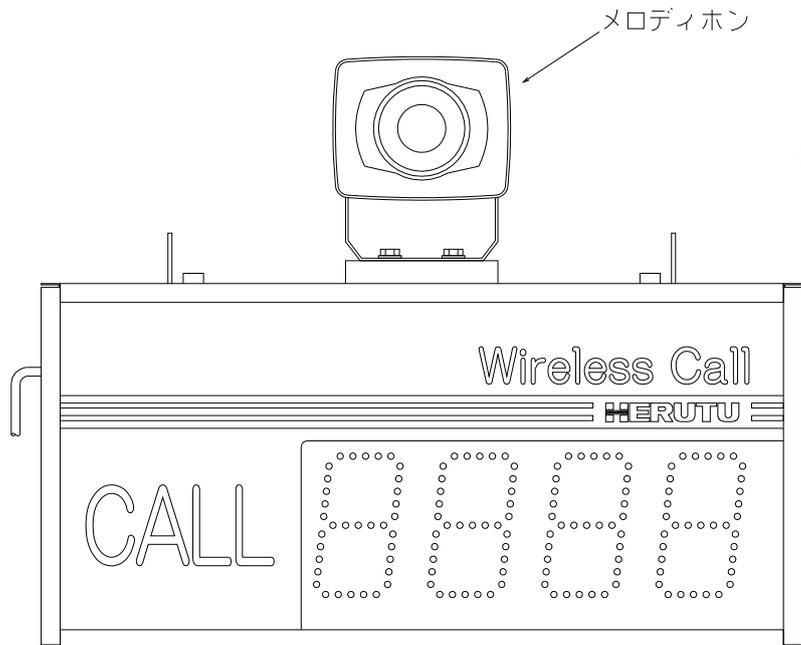
4-2. メロディホン

4-2-1. メロディホンの動作

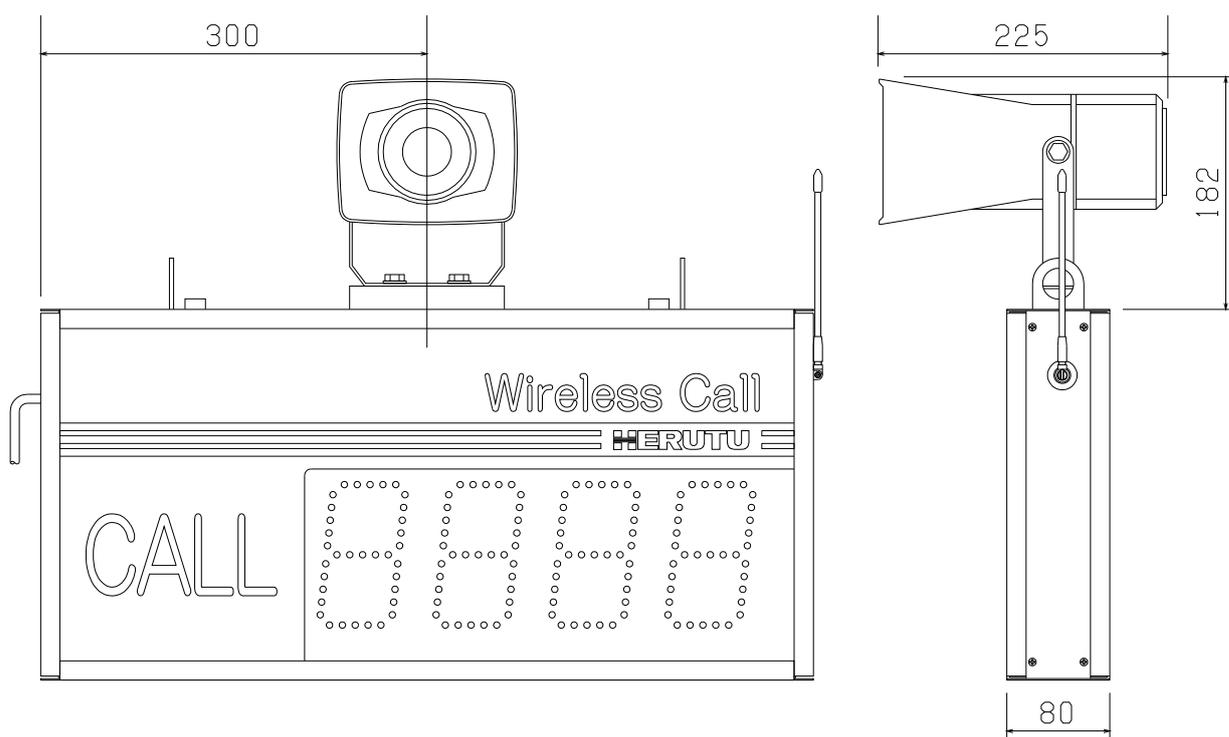
表示機にメロディホンを取り付け、表示と連動してメロディが鳴ります。

点滅表示と点灯表示でそれぞれ別のメロディが鳴ります。点灯表示が優先のため点滅と点灯が同時に動作している時には、点灯表示と連動しているメロディが鳴ります。

メロディはリレー出力を使用して鳴らすため、他の機器の接続にリレー出力は使用できなくなります。



4-2-2. メロディホン付き表示機寸法図



* メロディホン付き表示機の重量は、約1.8kg重くなります。設置時にご注意下さい。

4-2-3. メロディの選択

メロディは出荷時固定となります。



ヘルツ電子株式会社

HERUTU ELECTRONICS CORPORATION

〒433-8103 静岡県浜松市北区豊岡町62-1

(営業部) TEL. 053-438-3555 FAX. 053-438-3411

ホームページ <http://www.herutu.co.jp> E-mail webmaster@herutu.co.jp